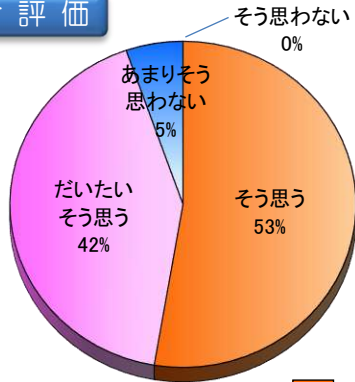


【学校評価委員の評価】 最終評価

2月10日(金)、学校評価委員会を開催しました。保護者・児童・教職員の3者による「学校評価アンケート」の結果等を参考に成果と課題を整理し、次年度へ向けた改善の視点等を協議しました。総合評価では肯定的なご意見が95%(昨年度90%、一昨年度93%)でした。この一年を通して保護者との信頼関係が一層深まり、子供たちが楽しく、安全・安心な学校生活を過ごしていることを高く評価していただきました。一方で、学校の取り組みが伝わっていない面もあり、目指す目標が高すぎて無理があるのではというご意見もいただきました。学校関係者評価の結果を真摯に受け止め、次年度計画を立てて参ります。詳しくは↓

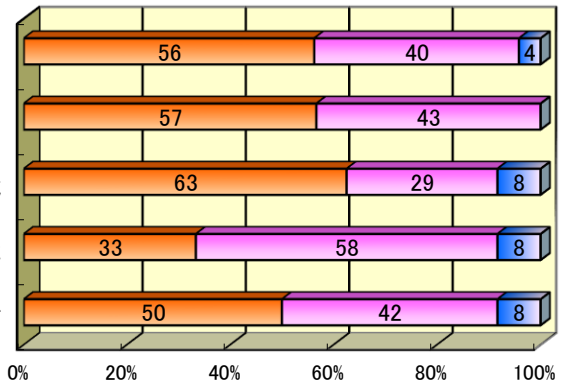
<http://www.city.akishima.ed.jp/~fujimi/Irinen/Irinen9gakkouhyouka/Irinen9gakkouhyouka.htm>

総合評価



観点別

- 信頼される教育の確立
- 確かな学力の定着
- 豊かな心の醸成
- 健やかな体の育成
- 輝く未来に向かって



評価項目別

観点	No.	評価項目	評価委員からのご意見等	評価	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	校長のリーダーシップの下で、組織的に協働して運営を行っている。校長先生の経営方針の下、全教員がまとまっている感じが感じられます。教職員の意識は多様だと思いが、しっかり統率していると思います。	A	83						17
	2	安全管理危機管理	児童の安全と安心を確保するリスクマネジメントを行っている。防犯は、人の手が一番なので、地域や保護者と工夫して取り組んでいただきたい。許可証のない車があり、車の出入りが心配です。	B	50		50				
	3	学校公開情報発信	ホームページやマチコミを活用し、頻繁に情報発信をしている。コロナ禍の中でも、学校だよりや学年通信など、工夫された内容で、定期的に発行され、学校の活動の様子が知ることができ信頼感を持てます。	A	100						
	4	カリキュラムマネジメント	教育目標の実現に向けた取り組みを進めている。カリキュラムマネジメントの意味が、説明を聞いてもピンとこない。ただ、各教科がバラバラでなく、縦横をつなげて効果的な指導を目指していることは分かる。	C	17	67				17	
	5	学校・家庭・地域の連携協働	学校行事や新たな取り組みごとに、アンケートを実施するなど、保護者の意見を取り入れている。広く意見を聞く体制ができているように思われます。地域の方々も、様々な連携をとっていらっしゃると思います。	B	50		50				
	6	共にある教育の実現	学校は保護者や地域の声に耳を傾けている。前述5の項目との違いが判らない。「共にある教育」には至っていないが、学校が保護者・地域と共に子供を育てるというスタンスは伝わっている。	B	50		50				
	7	働き方改革の徹底	多忙なかでも教員が主体性を持って働いている。働き方改革は終わりにきかぬので、積極的に取り組んでほしい。少しずつ成果が上がっているアンケート結果ですね。先生方の意識が前向きに感じられます。	C	33	50			17		
	8	ワンチームでビジョンを共有	教員が同じ方向を向いて動いている。教員一人一人の得意不得意をきっちりと補い合い、支援し合いながら、同じ条件を子供たちに提供していく姿勢はありがたいです。まさにワンチームですね。	A	67				33		
確かな学力の定着	9	学習習慣・学習規律の定着	家庭それぞれなので困難さは拭えないと思いますが、「ふじみ寺子屋」など、児童のやる気を引き出す指導を行っている。授業の学習規律はとてもよい。	A	67				33		
	10	基礎・基本的な学力の定着	基礎学力習得のための指導を行なっている。授業の進め方については大型画面での説明と会話形式で進められ、内容が理解しやすくなります。授業に参加できない子への手立てをさらにお願ひしたい。	A	67				33		
	11	新たな価値を創造する力	新たな価値を創造できる力をつけるためにも、自分で考え表現する力を習得できる指導を進めてほしい。また、これからも画一的な教育にならないよう一層工夫してほしい。	B	17	83					
	12	外部人材ICT活用	タブレット等のICT活用で学習への関心意欲を高めている。コロナ禍を契機に、今後もICT分野は形を変えていくと思います。外部人材の活用方法なども、工夫し続ける努力が必要です。	B	50		50				
	13	ユニバーサル・デザイン	指示や手順を工夫し、視覚的にも分かりやすい授業を行っている。ユニバーサル・デザインの視点を大切にし、個に合わせた授業については、とても重要であり、期待します。	A	83				17		
豊かな心の醸成	14	自己有用感の醸成	他者との関係の中での自己を教員が模範となり示している。読書の習慣が付き、広く学ぶ場がある。子供一人一人を大切にされているので、子供たちも明るく、自信を持っているように感じます。	A	67		33				
	15	認知機能・社会性の向上	生活で困らないよう身体面・社会面での認知機能の向上を図っている。学級の中で、子供たちの良い関係が築けていて、仲良く生活しているのので、子供たちの思いやりの心が育っていると思います。	B	67				33		
	16	内面に根ざした道徳性の涵養	教員の日々の受容的・共感的な姿勢が児童の良きモデルとなっている。子供たちも友達への失敗を責めたり、強い口調で問い詰めたりすることなく、仲良く過ごしていると思う。	B	67		17		17		
	17	心の居場所づくり	SOSカードを用いて、児童の自尊心を育む指導を行っている。子供からのシグナルを見逃さず、適切な対応をお願ひしたい。子供一人一人に合わせた対応が大変ですが、よろしくお願ひいたします。	B	50		33		17		
健やかな体の育成	18	新しい生活様式の定着	命を守ることを第一に考えた指導を行っている。反面、学校生活や学校行事では、子供たちが生き生きと活動できるように、メリハリをつけて、対策を工夫していて、感謝いたします。	B	50		50				
	19	体力・運動能力の向上	多くの教員が駅伝大会に参加するなど、教員が率先して体を動かすことの楽しさを伝えている。コロナ禍の中でも頑張っていると思います。運動が気軽にできる環境整備をお願ひしたい。	B	17	83					
	20	ストレスに対処できる力	ストレスマネジメントの指導を進めてほしい。ストレスとは何かを理解していないと対応は難しいと思う。子供一人一人に合わせる場合によって専門的な知識も必要になってきます。	C	67		33				
輝く未来に向かって	21	健康管理保健衛生	すべての命を守るための信念のもとに感染防止・健康管理が行われている。他の学校に比べると、とてもきびく感染防止にしているが、そのおかげで安全安心が買われていると感じます。	A	67		33				
	22	言語能力の向上	言語メソッドを用いたコミュニケーション能力や感性・情緒を高める指導を行っている。図書館の利用度が高く、学ぶ、調べる場がある。学校からのおたより等で、取り組みが十分発信されていると思います。	A	67				33		
	23	情報活用能力の向上	タブレットを活用し、情報を得る手段や情報のやり取り、通信技術等を学んでいる。市内でも最もICTを効果的に活用している学校だと聞いています。ホームページでも詳しく発信されている。	A	67				33		
	24	国際社会で活躍できる人材	異なる文化・言語・価値に触れる機会を増やしてほしい。児童が自ら課題を発見できないのかと思う。個性を伸ばせる教育環境であってほしい。それがグローバル人材を育てることにつながります。	D	67		33		0		
	25	特別支援教育の推進	支援が必要な児童に普通の児童と同じ体験をさせていることは大変良いと思う。もう少し特別支援の様子がわかると良い。支援を必要とする子供が増えると思います。今後も充実を望みます。	A	67				33		

* グラフの数値%は、四捨五入しているため、100%にならないことがあります。